

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	グローバル人材の育成に向けたESDの推進	<b>担当部局庁</b>	国際統括官付	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度・未定	<b>担当課室</b>	国際統括官付	国際統括官付国際戦略企画官 靱井 圭子			
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>政策・施策名</b>	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 13-2 国際協力の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	ユネスコ活動に関する法律(第4条)	<b>関係する計画、通知等</b>	我が国における「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施計画、第2期教育振興基本計画				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	教育委員会・大学等の学校関係者のみならず、ユネスコ協会・企業・NGO等の多様な主体の参加によるコンソーシアムを形成することにより、持続可能な開発のための教育(ESD)・ユネスコスクールの普及、さらにはユネスコ活動の普及・理解促進を図り、グローバル人材育成に寄与する。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	教育委員会及び大学が中心となり、ユネスコ協会及び企業等の協力を得つつ、ESDの推進拠点であるユネスコスクールとともにコンソーシアムを形成し、ESDの実践・普及及び国内外におけるユネスコスクール間の交流等を促進する。コンソーシアムに置かれるESDコーディネーターにより、教育委員会、大学、ユネスコ協会及び企業等のコンソーシアムメンバーの活動・連携の促進、学校、社会教育施設等の域内でのESDに関する連携強化及び国内外における交流の円滑化を図る。これにより、グローバルに活躍するために求められる資質・能力を育むESD活動の幅を広げ、学校に限らない広範な普及を図り、国際的視野を持つグローバル人材の裾野を広げる。						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算					69
		補正予算					
		繰越し等					
		計					69
		執行額					
	執行率(%)						
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(26年度)
	ESDの普及及びグローバル人材の育成は、様々な活動の総合的な成果として現れるものであるため、本事業のみによる定量的な成果指標の設定は困難	成果実績					-
		達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施事業数	活動実績(当初見込み)	件		( )	( )	※26年度の活動見込である。 ( 5 )
<b>単位当たりコスト</b>	13.8百万円(円/件)	算出根拠	= 予算額(69百万円) ÷ 実施予定事業数(5件)				
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	ユネスコ活動費補助金	-	67.2百万円				
	諸謝金	-	0.2百万円				
	職員旅費	-	0.6百万円				
	委員等旅費	-	0.6百万円				
	庁費	-	0.2百万円				
	計	-	69百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。			

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	「国連ESDの10年」の提唱国であり、2014年以降のESDの推進方策を議論する「ESDに関するユネスコ世界会議」を主催し、国際的なESDの取組を主導してきた日本政府としては、国内においてもESDを更に推進させる責務があり、国が主体となって本事業を実施すべきである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	受益者との負担関係としては、事業目的を達成するために国が主体となって実施する必要がある経費に限っている。 費目・使途は、事業の選定・評価等のための経費と、各コンソーシアムの活動を補助するための経費に限定されており、事業目的に沿ったものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>本事業は、教育委員会・大学が中心となり、ユネスコ協会・企業・NGO等の多様な主体の参加によるコンソーシアムを形成することにより、ESD・ユネスコスクールの普及、さらにはユネスコ活動の普及・理解促進を図り、グローバル人材育成に寄与することを目的とするものであり、日本政府として国内においてESDを更に推進するため、国が主体となって実施する必要性がある。また、受益者との負担関係及び費目・使途は事業目的に沿ったものとなっている。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
<p>本事業は、定性的な内容であるが成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
<p>・我が国における「国連持続可能な開発のための教育の10年」実施計画  <a href="http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokuren/index.html">http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kokuren/index.html</a>          ・第2期教育振興基本計画  <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/detail/_icsFiles/afieldfile/2013/06/14/1336379_02_1.pdf">http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/detail/_icsFiles/afieldfile/2013/06/14/1336379_02_1.pdf</a></p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文 部 科 学 省  
69百万円

・諸謝金 0.2 百万円  
・職員旅費 0.6 百万円  
・委員等旅費 0.6 百万円  
・庁費 0.2 百万円

グローバル人材の育成に向けたESDの推進



【公募・補助】

A. コンソーシアム(教育委員会、  
大学、民間団体等) 67百万円  
(13.4百万円×全5件)

・国内外の学校との交流促進・ESD活動の支援  
・コンソーシアムメンバー間の連携強化  
・社会教育施設等との連携強化  
・域内の学校等へのESDの普及・促進 等

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

※ 表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない

A.コンソーシアム(5件)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
ユネスコ活動 費補助金	コンソーシアムの推進経費（旅費、諸 謝金、消耗品、印刷製本費等） 13.4百万円×5件	67			
計		67	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

※ 表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない